

整理や収納を見直したり、システムをカイゼンしたことで生まれ変わった医院の知恵をご紹介します。



小原啓子
代表取締役

藤田昭子
歯科衛生士

大型医院ならではの シンプル・イズ・ザ・ベスト！



陽光が差し込む
暖かな待合室
窓から自然光をたくさん取り入れることで、患者さんが安心できるやわらかな待合室になる。

今回の
カイゼン医院

医療法人純康会
徳地歯科医院
京都府

カイゼン歴2年

- 院長 徳地正純
- 歯科医師 8人(うち非常勤3人)
- 歯科衛生士 10人
- 歯科助手 5人(うち非常勤1人)
- 歯科技工士 5人
- 看護師 1人
- 受付カウンセリング 4人
- 訪問部門 3人
- ユニット：12台



清潔感のある消毒室の作り方



Before

テーブルの上にモノを置かない
テーブルや棚にスペースがあるとモノを置きがちになり、作業ができなくなる。上にはモノを置かないようにし、テーブルの下はゴミ箱のみにするようルール化した。



After



Before

なければ棚をDIY！
副院長がDIYで棚を設置！ 滅菌後の器具はユニットごとにカゴに入れて自動的に戻る仕組みに。長期間使用していないモノは処分！



After

大きな医院こそカイゼンが重要

患者数が多ければ、それだけ多くの器具とスタッフが必要となり、システムも複雑になりがちです。情報を正確に伝えるにはシステムをシンプルにする必要があるため、効率化してスムーズな診療体

制に変えていきます。

そのポイントは物の置き場、動線、システムの見直しでのカイゼンです。大型医院でも、システムを整備すれば新人が入った後の育成も確実となります。